



## 解雇争議解決と安全運航確立を

### JAL愛媛争議団を支える会が宣伝

御巣鷹山墜落事故から38年

520人が死亡した日  
本航空123便の墜落事  
故から38年が経った12  
日、「JAL不当解雇と  
たたかう愛媛争議団を支  
える会」は、松山市の市  
駅前で宣言。26人が参加  
し、日本航空に解雇争議  
の早期解決と安全運航の  
確立を求めました。愛媛  
うたごえ協議会は、「未  
来をかけて」などを合唱

して支援。国鉄四国トレ  
インズは、JAL争議団  
への応援歌『あなたとど  
も』を歌いました。

重見幸春支える会事務  
局長は、「司法の不当な判  
決にも屈せず、闘いを続  
ける愛媛の争議団2名の  
取り組みを、勝利解決に  
結び付けたい。労働者の  
働く権利を侵害するよう  
な業務委託の提案に応じ  
ることはできない。『不  
JAL被解雇者労働組  
合の

日本航空の利益優先、安  
全軽視の下で、123便  
の御巣鷹山墜落事故をほ  
じめ数々の事故が起きて  
きたと述べ、「私たちは、  
事故を教訓に、『安全に  
ついては決して会社の合  
理化方針に譲ってはなら  
ない』と声を上げ、行動  
してきました。こうした  
現場の経験ある乗務員が  
邪魔になつて、経営破た  
んを口実として行われた  
のが165名の不当解雇

です」と力説。  
「利益優先体質を改め、  
絶対安全を取り戻すため  
に日本航空がまずやるべ  
きことは、この165名  
を職場に戻すことではな  
いでしょうか」と訴え、  
解雇争議の解決と安全運  
航を求める運動への理解  
と支援を呼びかけました。